

平成20年8月1日

各位

上場会社名 ネボン
 代表者 代表取締役社長兼代表執行役員 福田 晴久
 (コード番号) 7985
 問合せ先責任者 常務取締役兼常務執行役員管理本部長 内山 芳男
 (TEL) 03-3409-3159

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月22日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,600	△100	△140	△145	△12.39
今回発表予想(B)	3,450	△160	△210	△240	△20.89
増減額(B-A)	△150	△60	△70	△95	――
増減率(%)	△4.2	――	――	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	3,609	△104	△125	△435	△43.63

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,000	150	70	750	63.37
今回発表予想(B)	7,700	110	30	730	63.54
増減額(B-A)	△300	△40	△40	△20	――
増減率(%)	△3.8	△26.7	△57.1	△2.7	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	7,651	32	△40	△400	△40.08

修正の理由

第2四半期累計期間の業績予想については、当社の主力地盤である施設園芸業界の長引く原油価格の高騰から、施設園芸用温風暖房機から省エネを狙いとする施設園芸用ヒートポンプにシフトする傾向が顕著になり始め、軌道に乗り始めた施設園芸用ヒートポンプの出荷増が見込まれますが、主力の施設園芸用温風暖房機の出荷に翳りが出始めたため、施設園芸用温風暖房機の生産及び販売計画の下方修正が避けられず、売上高の減少と生産減に伴うコスト増により、営業損失、経常損失が見込みより増加し、また第1四半期に特別損失に計上しました組織再編に伴う特別退職金及び減損損失を合わせた1千6百万円も加わり、第2四半期累計期間の四半期純損失も1億4千5百万円から2億4千万円に膨らむ見込となります。

通期の業績予想につきましては、主力地盤である施設園芸業界の需要期を挟んでおりますが、第2四半期累計期間に見られる流れが続くものと予想されますので、売上高が減少となる見込です。コストダウンに努め営業利益、経常利益を確保する予定ですが、いずれも減少となる見込です。

なお、当期純利益については、平成20年5月22日にお知らせした「本社土地の賃貸契約(借地権の設定)による資産の譲渡と特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ」により7億5千万円を見込んでおりましたが、営業利益の減少と第1四半期に計上しました組織再編に伴う特別損失により減少いたしますが、税負担の見直しもあり、7億3千万円となる見込です。

以上